

はぎの幸弘 県政報告

VOL.
10

ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

県議会議員のはぎの幸弘でございます。日頃、地域の皆様方には特段のご指導、ご鞭撻を賜っております事に衷心より感謝申し上げます。

さて、皆様方におかれましては、昨年を振り返った時にどのような1年間でしたでしょうか。喜怒哀楽様々な出来事があったかと存じますが、その経験に基づき、今年はどうな年にしたいでしょうか。おそらく良かったことは引き続き、悪かったことは心機一転して良い方向に物事を考えたいと思う事でしょう。かくいう私も、昨年を思い返せば良いことよりも悪いこと、辛いことをよく思い出しがちですが、過去を悔やむのではなく「全て経験」と割り切って捉え今後の教訓として受け止めることで、何事も前向き行動しようと自分に言い聞かせながら日々行動しております。

ところで今年の干支は午年（うま年）ですが、ネットで調べて見ますと2026年は60年に1度しか巡ってこない、少し特別な丙午（ひのえうま）の年とのこと。干支といえば十二支の動物を思い浮かべますが、もうひとつの要素として「十干（じっかん）」という自然エネルギーの組み合わせがあり、これらを合わせてひとつの年が形づくられているのだとか。丙午の“丙”は、陽の火、つまり太陽の光を意味し、“午”もまた火の気をもつ力強い存在を意味しており、この2つの「火」が重なり合う2026年は、情熱や行動力が高まり、勢いのある一年と解釈されているそうです。

皆様にとっても今年1年が勢いある年となるよう願っておりますし、私もそのような年にしたいものです。

岩手県議会議員 はぎの幸弘

はぎの幸弘プロフィール

●氏名 萩野幸弘（はぎのゆきひろ） ●生年月日 昭和37年6月16日生まれ（63歳） ●血液型 A型 ●学歴 昭和50年3月遠野小、昭和53年3月遠野中、昭和56年3月遠野高普通科、令和6年3月近畿短大商経科（通信）卒業 ●職歴 昭和56年4月遠野市役所採用、平成2年6月岩手アパ

レル（株）入社、平成11年9月（株）遠野（あえりあ遠野） 出向（5年間）、平成23年11月岩手アパレル（株）代表取締役就任（現在に至る） ●主な経歴 遠野高校PTA会長、岩手県高等学校PTA連合会副会長、遠野市防火管理者協議会会長、（一社）釜石地区法人会副会長（遠野支部長）、釜石地域雇用開発協会理事、（一財）岩手県社会保険協会理事、遠野市議会議員（3期12年）

**県議会12月定例会
一般会計補正予算(第4号)**

9月定例会の減額予算から一転

総額83億円の増額予算を可決



県庁と議会棟を結ぶ渡り廊下から撮影した風景。

岩手県議会12月定例会が11月27日(木)から12月10日(金)まで14日間の会期で開かれました。補正予算(第4号)は約83億円増額し、累計7,479億3,023万円となりました。主な歳出は物価高騰対策賃上げ支援費27億1,400万円、生活困窮者原油価格・物価高騰特別対策補助3億9,605万円、人事委員会勧告等に基づく給与改定に要する経費50億9,864万円、ツキノワグマ被害防止対策事業費1,142万円などです。

本会議最終日は、補正予算案など38議案、発議案は「衆議院議員定数削減に関する民主的な手続きの順守を求める意見書」など11件を可決しました。本会議初日に提案されていた「議案第10号 医療局長及び企業局長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例」は、総務委員会と環境福祉委員会の合同審査の結果、執行部による説明が不十分などの理由で両委員会とも全会一致で継続審査となりました。

25年度一般会計補正予算案(第4号)の主な事業

1. 物価高対策

●国の動向を踏まえた補正予算を編成。今回は県内中小企業等の賃上げ支援や生活困窮世帯の経済的負担軽減に要する経費を先行して計上。

●予算総額37億200万円(第4号補正31億1,000万円)

(1) 岩手県物価高騰対策賃上げ支援費 27億1,400万円

→賃上げた企業に対し、従業員1人あたり6万円または8万円、1事業所当たり最大50名分400万円を交付

(2) 生活困窮者原油価格・物価高騰特別対策費補助 3億9,600万円

→市町村が生活困窮世帯に対して冬季間の灯油購入費、防寒用品費等に係る費用を助成する場合に要する経費を補助

2. 通常分【補正予算額51億6,600万円】

① 指定管理鳥獣対策事業費(ツキノワグマ総合対策)等 3,700万円【補正後現計1億500万円】

→人身被害防止のため、箱わな等の設置、市町村への専門家派遣及び吹き矢による麻酔捕獲者の養成と麻酔捕獲実施に要する経費

② 委員会運営費(教育委員会経常経費) 5,900万円

【補正後現計1億100万円】

→南昌みらい高等学校体育館新築工事の契約解除に伴う請負業者に対する損害賠償に要する経費

③ 給与費50億9,900万円

→人事院勧告等に基づく給与改定に要する経費



3. 歳出予算の状況

【一般会計】

(単位：百万円)

区分	予算額	財源内訳				
		国庫	県債	その他	一般	
令和7年度	現計予算額	739,633	95,771	46,829	126,392	470,642
	補正予算額	8,297	638	0	72	7,587
	補正後現計予算額(A)	747,930	96,409	46,829	126,464	478,229
令和6年度12月	現計予算額(B)	747,254	93,517	44,703	138,940	470,094
比較	増減額(A)-(B)	676				
	増減率(%)	0.1				

生活困窮者原油価格・物価高騰等特別対策費補助

事業概要 原油価格、物価高騰等の影響に直面する生活困窮世帯に対し、冬季間の灯油購入費、防寒用品費等に係る費用の一部を助成することにより、生活困窮世帯に対するセーフティネットを強化しようとするもの。

補助対象世帯	①住民税非課税世帯のうち、高齢者世帯、障がい者世帯及びひとり親世帯若しくはこれらに準ずる世帯 ②生活保護法による被保護世帯
事業実施主体	市町村(市町村が補助対象世帯に対し助成事業を実施した場合に、県が一定額を補助)
補助基準額	1世帯当たり7,000円(県1/2、市町村1/2) ※物価高騰を踏まえ2,000円を加算(基準額5,000円+物価高騰特別加算2,000円)
対象世帯数	113,160世帯(令和7年9月時点)
事業実施主体	3,500円×113,160世帯=396,051千円 ※端数処理後



岩手県物価高騰対策賃上げ支援費

事業概要 最低賃金の大幅な上昇が続く中、事業者が継続的に賃上げできる環境を整えるため、昨年度よりも要件の緩和・内容の拡充をした上で、中小企業等に対し支援金を交付するもの。

支給対象者	県内に事業所を有する中小企業等 ※公益法人、協同組合、個人事業主等も含む
支給要件	以下の①及び②のいずれにも該当すること。 ① 令和7年10月以降、従業員の賃金を60円/1時間以上引き上げていること。 想定 60円/1時間×8時間×20日×12ヶ月=概ね年間115,200円以上の賃上げ ② 引き上げ後の賃金水準を1年間継続すること。
支援金額	従業員1人あたり6万円(最賃発効前の賃金が時給971円以上の場合) 従業員1人あたり8万円(最賃発効前の賃金が時給971円未満の場合※) 想定 1事業所あたり最大50人分、最大400万円を支援 ※最賃クリアに60円を超える賃上げが必要な従業員には、2万円を加算し、交換額8万円
予算額	27億円



賃金の引き上げを支援し、物価高騰に負けない県民の安定した暮らしを実現!

常任委員会
活動レポート
その1

「総務委員会」
「環境福祉委員会」
「連合審査会」

医療局管理者巡り 議論が白熱

日程 令和7年12月8日(月)

場所 議会棟 特別委員会室

審査内容 議案第21号 県立病院等事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例ほか

12月8日(月)から9日(火)の2日間にわたり常任委員会が開催され、それぞれの委員会が付託案件を審査しました。案件のうち県立病院事業の管理トップを医療局長から管理者に改める

条例改正案は、総務委員会と環境福祉委員会の合同審査形式で行われました。来年4月の施行を目指す案件でもあり、短い期間で人選など具体的な準備ができるのか疑問等の意見が多数出されたほか、現状の課題認識や設置による具体的な効果などの質問に対し、執行部は同じ答弁を繰り返したり、不明瞭な答弁に終始したため、議論は熱を帯びました。結果的には今定例会での採決は拙速であり、更なる審査が必要との結論に至り、両委員会とも全会一致で継続審査となりました。



多くの委員から質問が相次ぐ



答弁する執行部担当者

常任委員会
活動レポート
その2

環境福祉委員会

ナラ枯れと野生鳥獣被害を 環境の視点でどう捉えるか

日程 令和7年12月8日(月)、9日(火)

場所 議会棟 第5委員会室

審査内容 医療局、環境生活部及び保健福祉部関連

12月8日(月)午後からは環境福祉委員会が所管する3部署の案件審査がありました。特に医療局からは、県立病院の今年度収支として67億円余の赤字を見込むなど、厳しい経営状況について説明がありました。特に24時間体制で救急対応など高度な医療を提供する急性期病院の経営状況が物価高騰や人件費増で厳しい状況にあるため、早急な診療報酬の見直しを求める必要性を感じました。



委員会審査の様子



資料を示しながら質問するはぎの幸弘



また、環境生活部の審査では、県内にまん延しているナラ枯れが、急増するクマ被害などの野生鳥獣の生息環境にどのような影響を及ぼしていると捉えるか、農林水産部との連携はどのような状況か、などについて執行部の認識やお考えを確認しました。



持論を交えて質問するはぎの幸弘

岩手県都市
計画審議会
活動レポート

国道4号の混雑緩和に効果期待 ～矢巾町から盛岡西バイパスに直結～

- 日程** 令和7年11月11日(火)
- 場所** 岩手県公会堂2階 26号室
- 議案** 盛岡広域都市計画道路の変更について



【写真左】会議の様子 【写真右】資料を見るはぎの



私が委員を拝命して初めての会議でした。内容は、国道4号沿線の市街地を回避し盛岡市永井の盛岡西バイパスに迂回するルートの新設であり、満場一致で可決されました。具体的なルートは右の図1（配布資料抜粋）に示すとおりですが、滝沢市や秋田方面に向かう場合は非常に便利になると感じました。



森林・林業
政策研究会
活動レポート

木材の魅力と可能性を実感 ～県産材の普及と有効活用へ～

- 日程** 令和7年11月25日(火)
- 場所** 東京都内
- テーマ** 木材を取り入れた中・大規模施設の調査



第一生命京橋キノテラス



野村不動産のオフィス

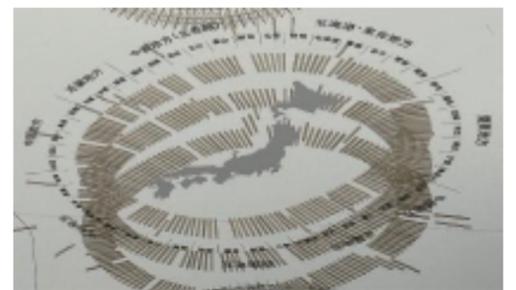


視察先は①国立競技場、②野村不動産溜池山王ビル、③第一生命京橋キノテラスの3カ所です。

どの建物も木と鉄を組み合わせ、木のぬくもりを感じつつ高耐久性を両立させた構造となっています。本県ひいては遠野市産材活用の可能性をひしひしと感じました。



国立競技場 屋根の小屋組に木材使用



屋根材は 47 都道府県産全て使用

県議会 12月臨時会 一般会計補正予算(第5号) 総額477億円の増額補正可決

岩手県議会12月臨時会が12月24日(水)に1日間の日程で開かれ、提案された議案が全て可決されました。中でも補正予算(第5号)は477億円増額し、累計7956億1600万円となりました。主な歳出は(1)生活者支援関連としてLPガスや学校給食等の物価高騰対策など8億6,200万円、事業者支援関連としてバス・タクシー事業者や福祉・医療関連、運輸事業者、農林水産業など幅広い産業への支援費総額81億700万円、ツキノワグマ被害防止対策関連事業費2億2,900万円、指定避難所の環境改善に必要な資機材を整備する地域防災緊急整備事業費1億900万円など通常補正分として総額387億1,700万円です。

歳出予算の状況

【一般会計】

(単位：百万円)

区分	予算額	財源内訳			
		国庫	県債	その他	一般
令和7年度					
現計予算額	747,930	96,409	46,829	126,464	478,229
補正予算額	47,686	31,298	15,898	2,533	▲2,042
補正後現計予算額(A)	795,616	127,706	62,727	128,997	476,187
令和6年度12月(9号)現計予算額(B)	788,017	115,216	59,384	140,863	472,554
比較					
増減額(A)－(B)	7,600				
増減率(%)	1.0				

編集
後記

「なぜ齢を重ねるごとに1年が早く感じるのか!？」年末や新年を迎えると、毎回同じことを考えてしまいがちです。この機会にネット検索してみると、「ジャーネーの法則」という、脳の活動量が原因しているとの情報を得ました。要約すると脳の活動量が増えると時間が

ゆっくり流れるように感じ、逆に新しいことに接触する機会に乏しく同じことを繰り返す毎日だと、脳の活動量が低下し、次第に老化していくとのこと。老化防止のためにも常に研鑽が大事だと理解し、自ら実践していこうと思います。

ご意見・ご要望など
お気軽にお寄せください

はぎの幸弘事務所

〒028-0523 岩手県遠野市中央通り5番14号
TEL 0198 (62) 9323 FAX 0198 (66) 3233
E-mail info@haginoyukihiro.com
https://haginoyukihiro.com



公式ホームページはこちら